

フォンス・フローリス古楽院 関西講座発表会

2012年11月24日(土) 午後4時 母の家ベテル 入場無料

問い合わせ：井上 ecclatin@aol.com 06-7172-8959

フォンス・フローリス古楽院は、西欧中世・ルネサンス・バロックの時代の音楽を、主に歌のアンサンブルを中心として実践する人たちのための学びの場です。古い音楽にふさわしい発声の基本、記譜法、声と声あるいは声と楽器のアンサンブル、言語の感覚、音楽史の知識、そして古い音楽の持つ深い霊性と高貴な精神性を、様々な楽曲を通して、楽しみながら学んでいます。

発表会では、グレゴリオ聖歌のミサ固有唱、そして15世紀と16世紀、つまりルネサンスの時代を代表する作曲家達のミサ曲とモテットを、典礼の流れに沿って演奏します。勉強と練習の成果をお聴きいただければ幸いです。



【演奏曲】

グレゴリオ聖歌 *Gregorian chant*

聖母のミサより *Missa de Beata Maria Virgine*

ジョヴァンニ・ピエルルイーゼ・ダ・パレストリーナ

Giovanni Pierluigi da Palestrina (1525?-1594)

ミサ《永遠のキリストの恵み》より *キリエ、グロリア*

Missa Aeterna Christi munera - Kyrie, Gloria

「全地よ、神に喜び歌え」 *“Jubilate Deo omnis terra”*

ジョスカン・デ・プレ *Josquin des Prez (1450/55?-1521)*

「自然の摂理に逆らって」 *“Praeter rerum seriem”*

ヨハネス・オケゲム *Johannes Ockeghem (ca.1410-1497)*

ミサ《カプト》より *クレド、サンクトゥス、アニュス・デイ*

Missa Caput - Credo, Sanctus, Agnus Dei

【演奏】フォンス・フローリス古楽院関西講座2012

「グレゴリオ聖歌」「ルネサンス音楽入門」

「ルネサンスのモテットを歌う」「アンサンブルクラス」受講生



「母の家ベテル」 阪急神戸線「御影」駅 徒歩7分

【指揮・指導】花井哲郎

早稲田大学第一文学部哲学専攻卒業。アムステルダム・スウェーリンク音楽院にて、オルガンとチェンバロを学ぶ。ロッテルダム音楽院において合唱指揮と管弦楽指揮のディプロマを取得。プラバント音楽院にて古楽声楽アンサンブルをレベッカ・ステュワートに師事。滞欧中、教会音楽家、合唱指揮者、鍵盤楽器奏者として活動し、またグレゴリオ聖歌の研究・演奏活動にも従事する。1997年に東京にて「ヴォーカル・アンサンブルカペラ」を創設、以来ルネサンス・フランドルの宗教作品の演奏を続ける。また古楽をレパートリーとするアンサンブル、合唱団、管弦楽団などを指導するほか、様々な講習会や講座の講師を務め、グレゴリオ聖歌、ルネサンス・バロックの宗教音楽の演奏と普及活動を行う。古楽アンサンブル「コントラポント」リーダー、フォンス・フローリス古楽院院長、国立音楽大学講師。本年4月よりNHK-FM『ビバ!合唱』の案内人を担当。



Fons Floris

主催：フォンス・フローリス